



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本曹達株式会社

コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杵渕 裕

問合せ先責任者 (役職名) 総務・法務グループリーダー

(氏名) 青木 啓値

TEL 03-3245-6053

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	102,663	5.4	3,967	△5.2	9,417	29.4	7,084	46.1
26年3月期第3四半期	97,403	12.1	4,186	170.7	7,280	57.3	4,849	39.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 14,299百万円 (41.5%) 26年3月期第3四半期 10,107百万円 (139.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	46.60	—
26年3月期第3四半期	31.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	216,522	120,011	52.5
26年3月期	204,297	108,224	50.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 113,745百万円 26年3月期 102,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	5.9	7,000	9.4	13,100	34.5	10,600	81.7	69.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	154,317,630 株	26年3月期	154,317,630 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,307,702 株	26年3月期	2,289,384 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	152,023,270 株	26年3月期3Q	152,095,879 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動については落ち着いたものの、急激な円安の進行及び原油価格の急落の影響等により、回復基調の中にも停滞感が見られました。

化学業界におきましては、海外の景気回復の遅れに加え国内景気の停滞感もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、製品の拡販等の積極的な営業活動を推進してまいりました。この結果農薬の海外向け販売が好調に推移したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,026億6千3百万円(前年同期比5.4%増)となりましたが、営業利益は、原材料価格の上昇等により、39億6千7百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

経常利益は、米国の飼料添加物製造会社の業績が好調に推移したこと等により持分法投資利益が増加し、94億1千7百万円(前年同期比29.4%増)となり、四半期純利益は70億8千4百万円(前年同期比46.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[化学品事業]

青化ソーダ及び重金属固定剤「ハイジオン」等が減少したものの、カセイソーダ及び樹脂添加剤「NISSO-PB」等が伸長したことにより、当累計期間の[化学品事業]の売上高は310億4千6百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

[農業化学品事業]

除草剤「ナブ」の輸出向け及び殺菌剤「ベフラン」等が減少したものの、殺虫剤「モスピラン」及び殺菌剤「トップジンM」等の輸出向けの伸長により、当累計期間の[農業化学品事業]の売上高は291億6千万円(前年同期比8.9%増)となりました。

[商社事業]

各種有機薬品等が伸長したものの、ウレタン原料等の減少により、当累計期間の[商社事業]の売上高は258億8千1百万円(前年同期並み)となりました。

[運輸倉庫事業]

運送業及び倉庫業等が堅調に推移したことにより、当累計期間の[運輸倉庫事業]の売上高は29億3千万円(前年同期比4.8%増)となりました。

[建設事業]

プラント建設工事及び土木工事の伸長により、当累計期間の[建設事業]の売上高は86億5千万円(前年同期比26.2%増)となりました。

[その他]

当累計期間の[その他]の売上高は49億9千4百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産や投資有価証券が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ122億2千5百万円増加し、2,165億2千2百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億3千8百万円増加し、965億1千1百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ117億8千6百万円増加し、1,200億1千1百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は52.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、製品の拡販と経費の削減等に取り組むとともに、新中期経営計画の完遂に向け、重点施策である「成長ドライバーの拡充」「事業基盤の強化及び再構築」「グループ総合力の向上」の3点を全力で実行してまいります。通期の連結業績につきましては、前回(平成26年11月4日)発表予想を以下の通りに修正いたしております。

なお、第4四半期の為替レートは1\$=110円を想定しております。

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	147,000	6,700	10,700	8,300	54	60
今回修正予想(B)	149,000	7,000	13,100	10,600	69	73
増減額(B-A)	2,000	300	2,400	2,300	—	—
増減率(%)	1.4	4.5	22.4	27.7	—	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	140,649	6,399	9,740	5,833	38	36

<修正の理由>

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、円安が一層進行していること、及び持分法適用会社の業績が好調に推移していること等により、前回発表の数値を修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が1,680百万円減少し、退職給付に係る負債が115百万円増加するとともに、利益剰余金が1,112百万円減少し、少数株主持分が43百万円減少しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,424	15,303
受取手形及び売掛金	43,886	39,424
たな卸資産	27,464	32,446
繰延税金資産	1,995	1,097
その他	3,119	3,993
貸倒引当金	△30	△27
流動資産合計	88,859	92,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,985	17,408
機械装置及び運搬具(純額)	17,175	18,233
工具、器具及び備品(純額)	1,644	1,632
土地	15,413	15,428
リース資産(純額)	405	329
建設仮勘定	3,008	2,109
有形固定資産合計	54,631	55,141
無形固定資産		
のれん	1,407	1,231
その他	1,421	1,236
無形固定資産合計	2,828	2,468
投資その他の資産		
投資有価証券	47,050	56,370
退職給付に係る資産	5,304	4,375
繰延税金資産	3,163	3,111
その他	2,514	2,870
貸倒引当金	△56	△52
投資その他の資産合計	57,976	66,675
固定資産合計	115,437	124,285
資産合計	204,297	216,522

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,757	24,207
短期借入金	32,259	33,233
未払法人税等	1,914	209
賞与引当金	3,728	896
その他	8,058	9,437
流動負債合計	68,718	67,982
固定負債		
長期借入金	17,701	17,931
繰延税金負債	3,023	4,263
退職給付に係る負債	2,883	2,911
その他	3,745	3,421
固定負債合計	27,353	28,528
負債合計	96,072	96,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	26,095	26,095
利益剰余金	44,174	48,930
自己株式	△644	△656
株主資本合計	98,792	103,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,919	5,587
繰延ヘッジ損益	△112	△23
為替換算調整勘定	2,067	5,887
退職給付に係る調整累計額	△1,441	△1,241
その他の包括利益累計額合計	3,433	10,210
少数株主持分	5,999	6,265
純資産合計	108,224	120,011
負債純資産合計	204,297	216,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	97,403	102,663
売上原価	73,290	78,494
売上総利益	24,113	24,169
販売費及び一般管理費	19,927	20,201
営業利益	4,186	3,967
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	369	454
持分法による投資利益	1,919	3,987
その他	1,515	2,016
営業外収益合計	3,811	6,462
営業外費用		
支払利息	439	424
その他	278	587
営業外費用合計	718	1,012
経常利益	7,280	9,417
特別利益		
固定資産売却益	—	23
その他	—	4
特別利益合計	—	28
特別損失		
固定資産廃棄損	139	157
その他	3	3
特別損失合計	143	160
税金等調整前四半期純利益	7,136	9,284
法人税、住民税及び事業税	1,070	741
法人税等調整額	1,032	1,246
法人税等合計	2,103	1,987
少数株主損益調整前四半期純利益	5,032	7,297
少数株主利益	182	212
四半期純利益	4,849	7,084

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,032	7,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,734	2,727
繰延ヘッジ損益	△50	△131
為替換算調整勘定	928	560
退職給付に係る調整額	—	227
持分法適用会社に対する持分相当額	2,462	3,618
その他の包括利益合計	5,074	7,001
四半期包括利益	10,107	14,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,687	13,861
少数株主に係る四半期包括利益	420	437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	30,134	26,789	26,107	2,796	6,852	92,680	4,723	97,403	—	97,403
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,556	17	3,442	1,145	2,377	18,539	2,293	20,833	△20,833	—
計	41,690	26,807	29,550	3,941	9,229	111,219	7,017	118,236	△20,833	97,403
セグメント利益	1,640	966	206	242	712	3,768	190	3,958	227	4,186

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	31,046	29,160	25,881	2,930	8,650	97,668	4,994	102,663	—	102,663
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,778	30	3,797	1,158	5,139	21,905	2,575	24,481	△24,481	—
計	42,824	29,190	29,679	4,088	13,790	119,574	7,570	127,144	△24,481	102,663
セグメント利益	1,020	1,186	157	385	1,117	3,866	211	4,078	△110	3,967

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。